

ADB アジア経済見通し

アジアが世界不況を乗り越えるには経済構造是正が必要

【香港、2009年3月31日】アジア開発銀行(ADB)は、「2009年アジア経済見通し」(Asian Development Outlook (ADO) 2009)を本日発表し、その中でアジアの途上国が今般の世界不況を乗り越え、長期的な外的マイナス要因に対する耐性を強化するためには、経済構造是正が必要との見解を示した。同報告書は、現在の世界金融・経済危機によって、過度な外需依存による経済成長のリスクが浮き彫りになったと指摘している ([報告書本体はこちら](#))。

また報告書は、アジア太平洋地域は輸出主導型の経済成長によって多大な恩恵を受けてきており、今後ともその方向性は基本的に変わらないものの、アジアの途上国が依然として抱えている多額の経常黒字が、現下の世界金融危機の底流にある世界的不均衡の中核的要因となっているとしている。

更に、アジア太平洋地域はこれまで、消費が過少であることや、貯蓄を域内において生産的に活用してこなかったという意味において、そうした世界的不均衡の高い代償を払ってきたとも言えるとしている。

ADBの李鐘和(Jong-Wha Lee)チーフエコノミスト代行は、「アジアの途上国にとって経済構造を是正することは国益上、基本的な要素だ」としている。しかし、各国の経常収支の内容やその背景にある要因は多様であることから、是正のために最適なポリシーミックスも国によって異なる。内需を掘り起こし、リソースを有効活用するためにADO2009が提案している具体的政策案は次の通り。

1. 国内消費を喚起するためには、企業などから個人への貯蓄移転を促す政策が必要。同時に、個人貯蓄の動機となりうる予防的心理を軽減する政策も必要。
2. 各国政府は投資の量的拡大よりも、投資環境の向上を優先すべき。

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

ADBのニュースリリース(和文)は、下記URLにてご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>

3. より積極的な財政政策を講じることにより、短期的には外需の落込みを緩和すると同時に、より中期的には内需拡大に向けた土台を整備すべき。
4. 中小企業やサービス業を支援するようなサプライサイドの政策を取ることで、国内需要に目を向けた生産の相対的重要性を高めていくことが必要。
5. よりバランスのとれた構造に向けた需給両面での調整を促進するような金融・外国為替相場関連政策を取っていくことが必要。

李氏は、「アジアの途上国にとって、必要な改革を実行することは、かつてのような高成長を取りもどす第一歩となりうる。また、今後の外性的ショックから地域を守ることもつながる」と述べている。世界的不均衡是正のために、各国が協調して取り組むことが求められている。アジアにおいて地域協力を推進すれば、今後今般のような危機に遭遇したとしても、その影響は緩衝されるだろう。

お問い合わせ先

駐日代表事務所

広報担当：望月 章子

T: +81 3 3504-3441/3160

E-mail: amochizuki@adb.org

ADB のニュースリリース (和文) は、下記 URL にてもご覧いただけます。

<http://www.adb.org/JRO/doc-news.asp>